



## グローバル課題研究 カリキュラムC

## 東南アジア留学生との交流会

## 開催概要

- ◆ 日時：2017年10月21日(土) 3、4時間目(10:50～12:40)
- ◆ 場所：中部大学春日丘高等学校 東校舎会議室、学習室3 (3、4時間目 国際・啓明1年生)
- ◆ 参加者：国際コース1年生 40名、啓明コース1年生 88名
- ◆ 留学生：参加留学生(一部社会人) 10名
  - 【ベトナム出身者】名古屋大学大学院法学研究科、名古屋大学、社会人より計3人
  - 【インドネシア出身者】愛知文教大学、名古屋大学大学院環境学研究科、名古屋大学大学院教育発達科学研究科、名古屋大学 農学部、名古屋工業大学、同朋大学より計7人



## ◆ 学習のねらい:

- ①本校のSGH(スーパーグローバルハイスクール)活動の4つの研究領域(国際協力、国際ビジネス、環境・エネルギー、医療福祉)から一つを選び学習をする。
- ②社会課題に対する興味関心を持ち、コミュニケーション能力、問題解決能力などの国際的素養を持つ、生徒を育成する。
- ③実際に現地の方に聞き取り調査をすることで、上記学習内容についての理解を深める。

## 学習の流れと成果

※[ ]内は所要時間

## ■ 国際コース/啓明コース1年生の交流会 [50分×2]

3、4時間目(10:50～12:40)までは、留学生に移動していただき、本校学習室3と東校舎会議室に分かれ交流会を行いました。内容は以下の通り行われました。

- 3時間目 国際コース1年生 ベトナムの留学生との交流 (説明25分+質疑応答 25分)  
 啓明コース1年生 インドネシアの留学生との交流 (説明25分+質疑応答 25分)
- 4時間目 国際コース1年生 インドネシアの留学生との交流 (説明25分+質疑応答 25分)  
 啓明コース1年生 ベトナムの留学生との交流 (説明25分+質疑応答 25分)

それぞれの交流会では日本ではあまり知られていない内容がほとんどで、生徒たちは熱心にメモを取りながら聞いていました。

## ＜ベトナムの留学生との交流会＞

ベトナムの場所や都市、歴史、人口、気候、水上マーケット、お正月、現在抱えている問題等のお話を聞きました。

- 人口 :現在のベトナムの人口は、日本の1970年代の人口ピラミッドと似ていて、20代の人口が多く、働き手も多くいるため、今後ベトナムが過去の日本のように発展を遂げるということでした。
- 水上マーケット:ベトナムの南部では、川が多くあるという特徴を生かし、水上マーケットが盛んであるという話でした。その水上マーケットでは、長い棒の先に販売している物をぶら下げ遠くからでも見える工夫をし、最近では観光産業として栄えているとおっしゃっていました。また、食文化も興味深く、日本ではあまり知られていないベトナムの食文化を紹介してくださいました。
- お正月 :ベトナムでは旧暦を使用しており、お正月は2月の下旬で、ベトナム語では「テト」と呼ばれている。ベトナムのお正月では、9割の人々が必ず故郷に帰り、家族と共にお正月を過ごすそうです。
- 現代の問題 :環境汚染(特に大気汚染)、収入格差(経済成長と共に起こっている)、領海侵犯(中国との関係)



収入格差



### <インドネシアの留学生との交流会>

インドネシアの基本情報、宗教、高校生活のお話を聞きました。

基本情報:言語(インドネシア語)、民族(300ほどの民族との共生)

宗教 :イスラム教(87.2%)、キリスト教(9.87%)、ヒンドゥー教(1.69%)、仏教(0.72%)、儒教(0.05%)

イスラム教は、サラート(1日に5回のお祈り)やラマダン(断食、日の出から日の入りまで)、イド・アル=フィトル(ラマダン明けのお祭り)について話されました。ヒンドゥー教は、インドのヒンドゥー教との違いがあり、ニューピ(一日中の断食と瞑想)や肉を食べる習慣などがあるそうです。

高校生活:日課、科目、制服、部活動について

日課は日本の高校よりも始業が早く、7:00から学校が始まり、学校後は日本と同様に塾などに行く習慣があるそうです。科目は、宗教(多宗教のため)や国家思想と公民(この科目が大切という話でした)、起業(将来のことを見据えた教育)、言語(英語、ジャワ語、スダ語、バリ語:多民族国家のため)など、日本のカリキュラムにはない科目が多くありました。制服にも特徴があり、3種類の制服を着分けるそうです。部活動にも特徴があり、日本にある部活動もあるものの、国旗掲揚のための規則や動きを学ぶ部活動もあります。

#### インドネシア人と宗教

- ・イスラム教 87.2%
- ・キリスト教 9.87% (プロテスタント 6.96%, カトリック 2.91%)
- ・ヒンドゥー教 1.69%
- ・仏教 0.72%
- ・儒教 0.05%

#### イド・アル=フィトル ラマダン明けの祭り(レバラン)

#### 高校生の制服

## 生徒の感想

- ・インドネシアの生活や宗教に対する考えを知ることができた。
- ・日本の便利なものは自分たちの身近にあって、あまり気付かないものだとことが分かった。
- ・領海侵犯が大きい問題だと思った。
- ・人口が1970年代の日本と同じであることに驚き、将来ベトナムが少子高齢化という問題にぶつかってしまうのではないかと考えた。
- ・宗教と同じく、文化や伝統にもビジネスは踏み込めないことがよく分かり、また発展途上国の環境汚染等の問題の対策も必要。
- ・環境汚染対策が進んでいないのは何かしらの理由があると思うので、その理由を知りたいと思った。
- ・インドネシアでは、宗教間で対立がなく、お互いに認め合っていることがすごいと思った。
- ・インドネシアでは民族や宗教の多様性を大切にしていることが分かりました。